

九夕 日刊 磐城時報

本報發行所 磐城郡平田町三丁目 電話 二四一 印刷所 磐城郡平田町三丁目 電話 二四一

松本政友候補 石城に挨拶状 水も洩らさぬ運動ぶり

政友会公認候補者松本孫右衛門氏は前回の選挙に破れたので今回は濱三郡に亘つて水も洩らさぬ熱心な運動ぶりを示し石城郡には平町白銀町に事務所を開設し九日石城郡内各権者に左の如き立候補の挨拶状を配布した。

立候補に就て 議會は解散された、忽ち普通選挙の舞臺が開けた、私はこの舞臺の立候補者として、選挙民諸君に訴へたいことが多し、民政黨は一時の多数に寄り、總理大臣の施政演説も聴かず、勿論政黨の説明も待たず、政府不信任案を提出して、一氣に政府を倒さうとした、如何に民政黨の所謂政府の失敗や不都合があつても、苟くも議會政治に忠實であるならば、院外の風聞、批評に基いて、輕々不信任案を提出するやうなことをせず、十分問ひ訊すべきことを問ひ訊し、聽くべきことを聽いた上で、取るべき手段を取らなければならぬ、唯だ自分で勝手な臆断を下し、勝手な批難を加へて置いて、さて政府を信じ、直ちに不信任決議をしようとするのは、全く議會を無視した態度である、政府が断然解散を決行したのは、要するに賣られた喧嘩に對する余儀ない仕打ちであつた。

民政黨の前身たる憲政會内閣は、如何なる事をして、如何なる理由で倒れたか、亂脈なる財政計畫と緊縮政策と裏切れる偽善的消極政策のために世間は不景氣のどん底に落ち、我邦では未だ先例のない經濟界の大動亂が起きた、銀行はぱた／＼と店を閉ちて、下手をやれば由々しい事件さへ出来兼ねぬ形勢となつた、外交の上では逆も傍觀して居られぬ支那の問題に關してさへ、國家の名譽も利益も權利も思はざる始末であつた。わが政友會總裁が大命を拜して内閣を組織するに就ては、實に内外に危険な状態が差し迫つた結果であつた。

從つて現内閣は、成立勿々に前内閣の跡仕末に忙殺された偶ま不精な人の住んだ家へ引越して行つて、當分拭き掃除に困惑した状態である、今更民政黨に兎や角批評の資格はない、而も跡仕末の仕事が濟んで、各方面に景氣立ち直りの見込みがあつくと、内閣は直ちに平常の主張に従つて、新たに仕事に取掛つた、所謂積極進取の政治である、別の言葉で言へば、革新主義、進歩主義の政治である、到底不精者には眞似の出来ぬ政治である、政友會は在野當時、如何なることを主張したか、勿論外交

方自治体の仕事を自由に、愉快に、結果多くして、國家の隆盛を圖ることが出来るか、これが目的である、然し個人も團體も、自由、愉快に働くだけで、必ず多くの利益、幸福が獲られるとは限らぬ、兎もすれば働いて働き甲斐のない不幸を見ることがある、社會の何處かに故障があるからである、現内閣に於いて所謂社會政策とは、この何處かに存する故障を除いて、凡ての人、凡ての團體、凡ての階級、一齊に利益と幸福とを興へ以て共存共榮の實を擧げようとするのである、勞資の關係、貧富の關係に就いて、種々の考究、計畫があるのは、この目的に外ならぬ、特、一部の階級の爲めにのみ利益や幸福を圖つて、他を顧みないのは、社會主義者又は社會主義の政治を唱ふる者とのことである、政友會本は現内閣の社會政策と根本の相違がある、同時に保守、積極な政黨を以て、政友會に

よび現内閣の社會政策に倣はさずとも、出来ない相談である、政治は猶ほ流れに従つて土手を築き、人の骨格、身長に従つて、衣物を裁つたやうなものである、舊來の制度、組織規模に執着して、時と人を忘れてはならぬ、保守、消極で、行かす、急進、過激でもみなならず、政黨自体に於いては、亦た然らなければならぬ、既成政黨が時勢に従つてその新政策を樹立するが爲めに、自から常に新人に依つて清新の氣を養ふ必要があるのは言ふまでもない、不肖固より此の所信と覺悟を以て、我黨の主義政策の實現につため國民の進歩に渾身の力を爲すものである、普通選挙の第一年に多數同志に依り候補者に推選せられたのは不肖の光榮之れに過ぎぬ事である、茲に立候補に際し早見を述べて有力なる諸賢の御援助を願ふ次第である。

佐川候補に同情し 續々と金品の寄附 同情と人氣各所に溢れる 勢力日に加はる

民政黨系の中立候補者として郷寄せらるに至り、昨今毎日の如く里石城郡から立候補を宣した佐川無名或は自ら事務所を訪れて金川潔氏の勢力は民政黨比佐川平品の寄附を申し出づるものあり氏に厚意を持つ人々の凡ゆる中佐川氏は之等の厚意に對して有傷宣傳等があるにも拘はらず日難きに涙を流して感謝してゐるに日に人氣を増しつゝあるの、比佐川平氏も強敵と見て戦ひ愈激烈の度を増しつゝあるが、之を知つた有権者で佐川候補の人格識見に私淑してゐる人々は苦境にある佐川氏に漸く同情を

海氣館の自動車 列車に衝突 昨夜播槌小路の椿事 運轉手は無免許

四倉町自動車營業海氣館の豊田發表演説會は九日午後六時から義孝所自自動車第四七二號を助平町平劇場に誘へ、等である、政手新妻信男十九が運轉手豊田友候補者木村清治氏の演説會は義孝(二五)に無断で平町二丁目九日午後一時から好間村炭礦から助手臺に平町岸澤自動車部場、午後六時から好間村小學助手小林清七(十七)を乗せ上小校に開、十日は午後一時から川村に向ふ、八日午後九時半内郷村内郷座、午後五時から同頃出發し播槌小路に於て、赤村警備隊場夫々山田忠正氏が井福島炭礦理髮片寄宗次(三)政見發表の演説と、等である九)好間村大字川中子高木源治又政友木村清治氏の演説會は同(四〇)の二名、乗せ播槌小路の午後一時から永戸村、午後六時踏切りに着し、かゝる不注意に、ら三阪村で開演する。

明大生 松孫氏應援 各所演説會

政談演説會 石城の混戦 悔り難し 民政の勢力

十一日夜高久、豊間、十二日江名、小名瀨、十三日内郷、村、湯本、十四日好間、赤井、十五日平、小川

平新川町で

刑事と泥棒格闘

質札十數枚を持つてゐる男

山形縣西置賜郡小國村大字宮生...

演説妨害の 新戦術

新戦術

演説妨害の 新戦術

選挙期日も後旬日となつて...

足を轆かる

警備村警備隊小野田坑坑夫南...

花合と賭博

小名濱町の 花合と賭博

五)の五名は舊正月一日、二日...

落磐で重傷

山形縣第五坑支夫安達郡和木...

讀者と記者欄

(問) 私は母と二人きりで...

二月九日十日間(創業貳拾週年紀念の爲) 牛豚肉元價提供

外科 入院隨意 上田外科醫院

料理の王 カキ貝料理の王

滋養、強壯劑として愈々好評 粟守酒

移轉廣告 弊院従来福島縣平町驛前通りに於て診療に...

九日ヨリ 此の學を默過さるゝ勿れ 母を尋ねて三百里

家庭の温泉 湯之花 大平屋藥店